

森りょうじ リポート。(96号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

■森が動く。～4期目スタートにあたって～

4月の統一選挙では、4期目の議席をお預かりすることが出来ました。当日は開票所に足を運び、市民皆様の思いである全投票用紙(66,577票/投票率43.87%)を自らの眼で確認致しました。

発展の著しい本市ですが、この発展を市全域の発展に繋げていくためには、この4年間はとても重要な時期と考えています。市民皆さまのご期待に応えるよう、全力で動いて参ります！



■議会選出の監査委員に就任しました！

この度、議会を代表する監査委員に選任(任期2年)頂きました。企業と同様に自治体にも監査業務があります。組織を監督し、検査を行うことから高い独立性や専門知識を求められるポジションとも言われています。今や流山市の財政は一般・特別・事業会計を合わせると1033億円規模になりますので、監査業務の役割は益々重要になってきています。身が引き締まる思いです。※監査委員の立場は議会組織より前に多くの情報を得るため議会活動(一般質問など)には制約が伴います。

■ご案内(森から皆さまへ)

- ①令和元年第3回定例会の日程案9/5-10/7です。
- ②次回の駅活動は令和元年10月から実施予定です。
- ③ポスティング協力をして下さる方を大募集！

○1976年6月12日流山生まれ(43歳) ○家族:妻

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ
流山市立新川小、流山市立北部中卒業
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社(管理部ほか)

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選(4,508票)

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選(5,830票)

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

○後援会事務所:流山市中野久木559-2

討議資料

森りょうじ

森が動く。



流山市議会議員

討議資料

平成23年から所属している市議会内会派流政会ですが、4月の選挙後に新たに1名の仲間が加わり、9名体制で再スタートすることになりました。これを機に派内に新しい視点が加わることとなりますので、派内の政策議論を踏まえて、当市の活性化に繋げていけるようにしたいと思います。

森が動く。①

【流山市の都市交通網を強くする。】

流山市の成長を支える代表的な基盤と言えば『つくばエクスプレス (TX)』と『常磐自動車道流山インターチェンジ (流山 I.C)』です。本市の更なる発展のためには、この二つの交通インフラを更に強化させる必要があります。

一方で現実的な課題として、TX の朝夕の慢性的な混雑問題と開通後 25 年以上が経過した流山 I.C が今後も増加が予想される交通量に対応しきれぬのかと言った声も耳にします。そのようなことから TX 混雑緩和に向けた「8 両化事業の早期実現」と流山 I.C の機能拡充について質しました。

TX 運営会社が 5 月に示した方針では 8 両化の実現は 2030 年代前半とのことですが、現在の混雑状況を考えて

ると少しでも前倒しの実現に向けた対応が必要です。井崎市長の答弁も同様の認識でした。

流山 I.C は新川耕地の物流施設フル稼働（令和 5 年頃）を見据えていく必要があると思います。そこで I.C 機能の拡充や周辺整備（道の駅構想など）を行うことで本市の可能性を高めること（添付資料）が考えられますが、担当課は基本的な見解を述べるに止まりました。

資料⑤：公共交通機関の機能強化

◎千葉・東葛ゲートウェイ構想

●位置付け：ゲートウェイ
千葉県や東葛地域の出入口としての立地性をいかにす。

●東葛地域の概要
・千葉県総面積の7.4%
・人口149万人（県総人口23.8%）
・首都圏の消費地を背景にした生産地（ねぎ・梨・ほうれん草・かぶ・枝豆...）
・フルーツ狩りのできる観光農園（ブルーベリー・梨・ぶどう・いちご...）

参考：総務部東葛地域振興事務所HPより（許可済み）



森が動く。②

【人口増加と将来的なまちの姿を考える】

数年以内に 20 万人都市となる流山市。今後の目指すべき姿の一つとして『中核市への移行』の可能性について、当局の見解を求めました。

中核市になると県から権限が移譲されるため流山市独自のまちづくりを行うことが可能になります。一方で課題も指摘されていますので、十分な議論が必要になります。議論の内容は議会日より（8 月 15 日発行）にも掲載されます。

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

人口減少が予測される北部への対応は？

平成 30 年 3 月に公表された将来人口推計調査報告書では、運河駅・江戸川台駅を中心とした北部地域の人口は今後十数年で約 7,000 人の減少が予測されています。地域コミュニティの形成や維持の問題、また学校運営の適正規模の問題に加えて、駅前商店街や商業活性化を考えると、大変重い課題です。そのようなことから、改めて北部地域のまちづくり方針について質しました。

北部地域は大半の市街地で開発が済んでいることもあり、特効薬的な政策を打ち出すことは難しい状況です。そのため、今後は大小様々な政策を根気強く

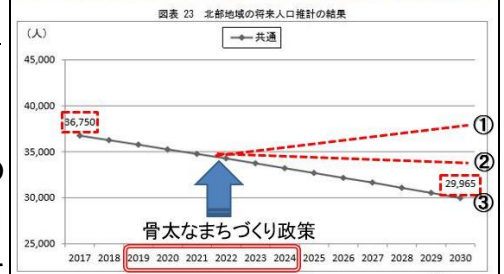
きめ細やかに打ち出していくしかありません。

質問時間の関係で、今回は掘り下げた

議論は出来ませんでした。駅周辺の再整備による活性化や、子育て世帯の誘導策として「子育て支援機能をもつ行政施設の整備」などを求めましたが、積極的な答弁はありませんでした。

資料⑦：人口推計とまちづくり

◎将来人口推計調査・北部地域(H30.3公表)



森が動く。③

【高齢者の移動を支援する。】

今定例会の特徴の一つに、全国で多発している高齢者ドライバーの事故に関連した質問が目立ちました。私自身も同様の視点から、市で取り組む「高齢者移動支援バス事業」の充実強化策を求める質問を展開しました。

現在は市内 5 病院の協力により 6 ルートで運行されており、昨年は延べ 4429 人の利用がありました。市内にはぐりーんバスや路線バスが運行されていない地域も多く、今後はそのような地域への移動支援の充実が求められてきます。私からは市内にある私立大学、新物流施設や企業の送迎バスの協力拡大を求めたところ、協力要請をしていきたいとの答弁でした。

【連絡先】 TEL & FAX: 7155-3236
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp